

取扱説明書

この度は、弊社製品をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前にこの注意書きを必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。またお読みになった後も大切に保管し、必要な時には都度お読みください。誤った取扱いをして事故・故障・破損および、ケガをした場合、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。

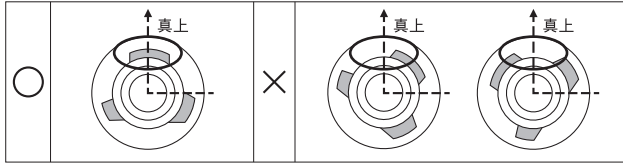
安全上の注意

- バルブ点灯中はコネクタを抜いたり、触れたりしないでください。
- 点灯中のバルブを直接見つめると、高輝度の光により視力障害の原因となることがあります。
- 引火する危険性があるところ(ガソリン、シンナーの付近等)で点灯しないでください。爆発や火災の原因となることがあります。
- 点灯中に紙や布で覆ったり、燃えやすいものを近づけたりしないでください。火災等の原因となります。
- バルブ交換作業は、平らな場所で、十分なスペースと安全を確保して行ってください。また、車両はギアをパーキングまたは、ニュートラルにして、パーキングブレーキを掛け、エンジンを切りランプを消灯し、ショート防止のため、バッテリーのマイナス端子を外してから作業を行ってください。
- バルブは高温で点灯しているため、やけどをすることがありますので、点灯中または、消灯直後にバルブに触れないでください。また、バルブ交換はバルブの熱を十分に冷却してから作業を行ってください。
- 幼児の手の届く場所に置かないでください。飲み込んだりしてケガの原因となることがあります。
- バルブの改造・加工は絶対に行わないでください。故障の原因となるだけでなく、感電、発火、発煙および、切削等の原因となり大変危険です。
- 本製品の発光部(LEDチップや電子基板)に手を触れたり水気や油脂などの汚れを付着させないでください。汚れてしまった場合は、柔らかいきれいな布でしっかりと拭き取ってください。汚れを付着させたまま点灯させると点灯不良の原因となります。
- バルブの取扱いは、必ずヒートシンク部を持ってください。発光部(LEDチップや電子基板)には触れないでください。バルブの破損や発煙の原因となることがあります。
- 取付けはバルブのツバ位置を差込形状に合わせて確実に行ってください。不完全に行うとバルブの落下や配光不良および、灯体の破損の原因となることがあります。配光不良は対向車に眩惑を与え、事故の原因となることがあります。

- 国産 12V 自家用車専用です。輸入車、商用車(タクシー、トラック含む)、特殊・特装車両には取付けできません。
- 本製品は自動車の純正 H8・H11・H16 ハロゲンのヘッドランプ(ロービーム)および、 Fogランプ装着車種(一部除く)の交換用バルブです。その他用途での使用は出来ません。保安基準などの自動車関連法規に抵触しないようにご使用ください。また、上記以外のハロゲンバルブおよび、HID バルブとの互換性はありません。
- 本製品には適合の可 / 不可があります。必ず当社ホームページまたは、パッケージ掲載の QR コードで適合情報をご確認ください。
- バルブの交換時は、必ず自動車整備工場または、販売店で行ってください。誤った接続は不点灯・誤作動の原因となります。(交換の際は車両の取扱説明書をよく読んで行ってください)
- 安全のため、バルブ交換時は清潔な手袋、作業用メガネを必ず着用ください。ケガの原因となることがあります。
- 車両灯具のレンズ面やリフレクターにキズやくもりがある場合、バルブ本来の性能を発揮できないことがありますので、事前に灯具の状態をご確認ください。
- ハロゲンバルブを取外す際は、ガラス管とヘッドランプの接触を避けて行うよう十分注意してください。バルブを落としたり、ぶついたり、無理な力を加えたりしないでください。
- 本製品の取付け作業前には、必ず身近な金属に触れて、身体に帯電している静電気を放電してください。
- カメラ / ミリ波 / 赤外線 / 超音波などを利用した先進機能は、純正バルブの使用を前提に設計・調整されているため、本製品を装着することにより正常に作動しなくなる恐れがあります。本製品を使用したことによる下記車両装備の作動不良および、それにより生じた事故・損害については一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- 例) アダプティブヘッドランプ、オートマチックハイビーム、衝突被害軽減システム、駐車支援システム、誤発進制御システム、レーダークルーズコントロール、車線逸脱防止支援システム、クリアランスソナー など
- 本取扱説明書の警告・注意事項を守らなかったことが原因で発生した事故や破損につきましては、一切の責任を負いかねます。

使用上の注意

- 結線したコネクタ端子が外れないことを確認してください。確実に接続しないと不点灯の原因となります。
- 一部の車両では本製品使用時にノイズが発生し、ラジオ等に雑音が入る場合があります。
- ランプ灯具後方に取付けスペースがあることをご確認ください。
- ランプ内のハロゲンバルブのツバ形状を確認し、最上部のツバが真上に向いているランプに装着してください。正常に取付けると LED バルブの発光面が真上を向くように取付けます。真上にないランプでは、十分な配光が得られません。

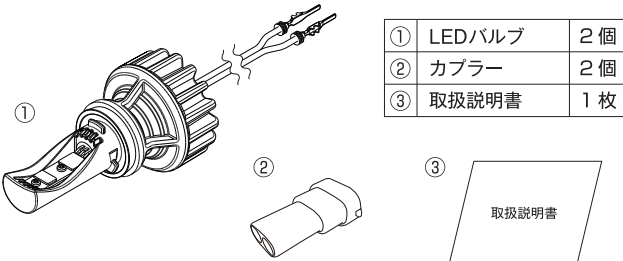


- 本製品のヒートシンク部に灯具やコードが触れていないことを確認して取付けてください。火災の原因となることがあります。
- バルブが時々または、全く点灯しない、異常に暗い等、正常に機能しない場合には、速やかにご購入の販売店にご相談ください。そのまま使用を続けると加熱や発煙の原因となることがあります。
- エンジン停止時、長時間の連続点灯は避けてください。バッテリーあがりの原因となります。
- 車両配線や LED バルブ本体の配線を強く引っ張らないでください。コネクタ外れや、断線の原因となります。
- 取付け作業終了後、各電装品(ランプ・ワイパー・オーディオ等)が正常に作動するかご確認ください。
- 車両によっては球切れなどを感じするためにスイッチを切った状態でも、車両側が微弱電流を流しており、うっすら点灯してしまう場合がありますが、車両の仕様によるものであり、製品の不具合ではありませんので予めご了承ください。
- アイドリングストップ機能付き車両または、バッテリーが弱っている車両に使用すると、エンジン始動時に点灯の遅れやチラツキ・暗灯などの症状が発生する場合があります。
- 光軸は走行中のショック・タイヤの空気圧や車体重量の変化によりずれる場合がありますが、製品の故障ではありませんので、適宜光軸調整を行ってください。
- ヘッドライトに関わる他社製品(後付けオートライトやオートハイビーム等)との併用は行わないでください。製品の故障や車両火災の原因となることがあります。
- コネクタを外す際はハーネスを持たず、コネクタを持って作業してください。
- 本製品は、未登録車(登録前の車両)への取付けはできません。必ず登録後の車両へ取付けてください。
- 本製品は車検対応品ですが試験官によっては不適合と判断される場合があります。予めご了承の上、取付け作業を行ってください。
- 本製品は使用するランプの種類によっては点灯時に色調が異なって見える場合があります。予めご了承ください。
- 交換したハロゲンバルブは大切に保管して、万が一本製品に不具合が発生した場合には速やかに使用を中止し、ハロゲンバルブに戻してください。
- 本製品はハロゲンバルブに比べ発熱量が少ないため、ランプに付着した雪や氷が解けにくい場合があります。予めご了承ください。

構成部品



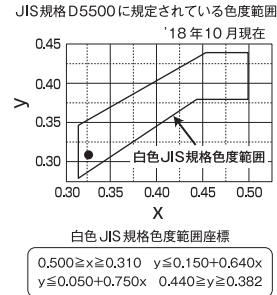
取付け作業を始める前に、下記の構成部品表の部品が全部揃っているか、また汚れ・キズ・破損がないか必ず確認してください。欠品破損等がございましたら、パッケージに記載の電話番号までご連絡ください



車検対応について

本製品は、保安基準で定める「発光色」・「視認性」の性能評価を満たしておりますが、灯具の種類(反射鏡やレンズの形状や光軸調整不備)によって、点灯時の明るさおよび、色の見え方が変わる場合があります。そのため、自動車検査場やお車の種類によっては、車検に通らない場合もあります。

保安基準第 32 条の項目
●すれ違い用前照灯(ロービーム)
すれ違い用前照灯は、その照射光線が他の交通を妨げないものであり、かつ、そのすべてを同時に照射したときに、夜間にその前方 40 メートルの距離にある交通上の障害物を確認できる性能を有すること。
保安基準第 33 条の項目
●前部霧灯
前部霧灯は、その照射光線が他の交通を妨げないものであること。



交換方法

はじめに

車両の取扱説明書を参考にして本製品を取付ける箇所のバルブを取外してください。ショート防止のため、バッテリーのマイナス端子を外してから作業を行ってください。

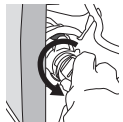
1. コネクタの取外し

バルブコネクタのツメを押さえながら下側にスライドさせて、バルブコネクタを取外してください。



2. ハロゲンバルブの取外し

ハロゲンバルブを左回転方向に回し、ガラス部を灯具に当てないように、ゆっくり手前側に引出してください。



3. LEDバルブの仮接続

LED バルブのカプラー用端子を車両側コネクタに仮接続をしてください。バッテリーのマイナス端子を接続し、ライトのスイッチを ON にして点灯を確認してください。



⚠ 注意

- ・この時点では、付属のカプラーは使用しないでください。一旦カプラーに差し込むとカプラー用端子は抜けなくなります。
- ・無理にカプラー用端子を引き抜くと、故障の原因や防水がとれなくなります。

4. LEDバルブの装着点灯確認

4 の作業で点灯確認できた接続となるよう、付属のカプラーにカプラー用端子を確実に挿し込み、端子が抜けないことを確認してください。2 の作業と逆の手順で元に戻して、点灯確認をしてください。

5. 車両の復元

1 の作業と逆の手順で元に戻してください。

光軸調整を確実にし、光軸が適正であり、点灯時に対向車に幻惑を与えないことを確認してください。